

あとがき

本書は「(仮称) 東日本大震災の災害救護活動記録集」編集委員会の監修の下で作成された。
平成24年9月に第1回編集委員会が開催され、以降数回にわたって会合や連絡・打ち合わせが行われた。
編集委員会の委員は次の方々をお願いした。(◎印は委員長を示す)

(被災3県支部)	岩手県支部事務局長	早野 義夫
	宮城県支部事務局長	鈴木 隆一
	福島県支部参事監	斎藤 武宜
(支部)	東京都支部事務局長	後藤 明
(病院)	東日本赤十字病(産)院事務部長会会長 (仙台赤十字病院事務部長)	松本 和夫
(血液センター)	関東甲信越ブロック血液センター総務部長	松崎 政治
(本社)	企画広報室長	長田 信一 ◎
	総務部長	服部 亮市
	救護・福祉部長	木村 尚文
	医療事業部長	見澤 泉
	兼東日本大震災復興支援推進本部長	
(事務局)	企画広報室	

※平成25年1月現在の役職名(敬省略)

東日本大震災という我が国における未曾有の大災害に際し、全ての活動の事実を歴史的資料として正確に集録するとともに、その活動を支えた職員・ボランティアがどのような体験をしたのか後世に残す必要があることを強く認識し、今後の日本赤十字社の救護活動の一助とするため記録誌を作成した。

本書では、東日本大震災における日本赤十字社の活動をテーマごとに取りまとめている。関係者の生の声を記録に残すため、事実関係の確認にあたっては、できるかぎり関係者からエピソードを聞き取り、拾い上げるよう努めた。

加えて、各都道府県支部(施設)による救護活動エピソードについても幅広く網羅するため、各支部からも可能な限り情報収集を行った。さらに、被災3県支部、ブロック代表支部に調整していただき、それぞれの支部で適任者を選定して、手記を執筆していただいた。

記録誌の刊行にあたり、取材に快く協力いただき、原稿をお寄せいただいた職員やボランティア、そして被災者の方々に、この場を借りて心より御礼申し上げますとともに、限られた紙面の中ですべての原稿を掲載できず、割愛せざるを得なかったことを深くお詫び申し上げます。

本書に収録しきれなかった写真、映像媒体、関係資料等については、付録のDVDに収載した。

本記録誌が、今後の日本赤十字社の発展の一助となることを心より祈念し、結びの言葉としたい。

東日本大震災

－救護活動から復興支援までの全記録－

発行 平成 25 年 11 月 29 日

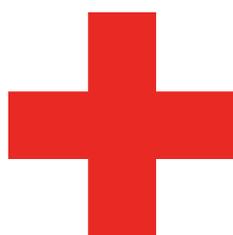
日本赤十字社 企画広報室

〒 105-8521

東京都港区芝大門 1 丁目 1 番 3 号

TEL 03-3437-7070 FAX 03-3432-5507

印刷 株式会社 太陽美術



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society